

## 院内訓練臨時病棟部門 2019年9月11日



令和元年度院内災害訓練が9月11日に実施されました。災害時には障がい者リハビリセンター（略称災害棟）1階にトリアージエリア、黒エリア、現地指揮所を、3階の体育館に、臨時病棟運営部門、赤黄エリア、臨時薬局部門、臨時画像診断部門、臨時検査部門を設置し、多数傷病者受け入れ体制を整え、トリアージで赤黄と判断された傷病者最大



400名を災害棟の仮設病棟にいったん収容する計画がなされています。今回の訓練では、発災5時間後を想定し、院内の被害状況を収集しつつ、当センターのBCPに基づき、合計164名の傷病者を受け入れ、入院、転院調整を行う訓練を行いました。多数の傷病者ボランティアの方々に御協力いただき感謝しております。DMAT隊員、FERST隊員に加え、普段災害医療を経験



したことが無いスタッフも一丸となり、災害対応について考える貴重な機会となりました。今後も訓練を重ね、基幹災害拠点病院としての役割を果たしていきたいです。

## 令和元年度住吉区総合防災訓練 2019年11月9日



住吉区総合防災訓練の一環として、大阪市荻田小学校の土曜授業のなかで防災学習が行われました。当センターからDMATが講師として参加し小学生を対象に「DMATカー」「簡易トイレ（ラップポン）の紹介」「ダンボールベッド」の展示説明を行いました。

「DMATカー」では我々DMATの説明と、災害時に通信や医療処置のできる装備などを紹介し、医療資機材の入った出動用のバッグを持つ体験をしてもらいました。小学生のみなさんはバッグの重たさにびっくりしていました。DMATの活動に興味を持っていただけたのではないかと思います。

「ダンボールベッド」は、災害時、避難生活を快適にするために開発されたものです。みんなで「ダンボールベッド」を組み立て、災害時に小学生にもお手伝いできることがあるということを知ってもらいました。

「簡易トイレ（ラップポン）」では便がラップされる過程を実演し、汚れも少なく臭いも抑えられることを体験してもらいました。災害時の環境



衛生に興味を持ってもらうきっかけになればと思います。

大阪でも台風や地震などの災害が続いています。今回、小学校での防災意識へを高める取り組みに参加させていただきました。今後もこのような地域での防災イベントに関わっていきたいと思います。